

月刊 工連ニュース

OKINAWA
INDUSTRIAL FEDERATION NEWS



沖縄県産品マーク

2015年 県産品奨励月間標語
第39回 沖縄の産業まつりテーマ

「あ、いいね! 使って納得 県産品」

地域で育まれた信頼を
「チカラ」として還元する企業へ

- 2015年 県産品奨励月間要請活動
- 「元気カンパニー」タイガー産業(株)
- ボイスシリーズ
沖縄高専の新しい取組
国立 沖縄工業高等専門学校 校長 安藤安則

2015
8月号
Vol.609

月刊 工連ニュース 8月号 2015 Vol.609

- 2p voice vol.105
沖縄高専の新しい取組
国立沖縄工業高等専門学校 校長 安藤 安則
- 3~8p 2015年 県産品奨励月間
県産品の自給率向上は県内の産業と
雇用に大きな効果を生み出す
●要請書特記事項
- 9p 協賛企業広告一覧
- 10p 主要建設資材の県産品使用状況
●那覇市・豊見城市・浦添市・北谷町
- 11p ◆沖縄の物産と観光フェアinイオンライカム
◆ここがポイント! 中小企業事業承継セミナー
- 12・13p 協賛企業広告一覧
ふるさと企業 県産建材・リサイクル関連企業
県内企業訪問
沖縄県・(公社)沖縄県工業連合会
- 14・15p キラリ! 元気カンパニー「沖縄の未来を照らす企業」
100年続く企業目指し『人間力』を磨く
タイガー産業株式会社

- 18p 沖縄県との県産建設資材優先使用に関する
意見交換会
(公社)沖縄県工業連合会
- 19p 第44回沖縄県発明くふう展 出展作品募集
(一社)沖縄県発明協会
- 20p 琉球大学工学部後援会からのお知らせ
SDN/クラウド技術による近未来のインターネット
- 21p 沖縄職業能力開発大学校
物流情報科のご案内
- 22p 沖縄高専だより
ドローン開発の日本の第一人者による
講演会及びデモフライトの実施
～無人ヘリ活用による沖縄における新規ビジネスに向けた勉強会～
- 23p 工業技術センターだより
金属粉末積層造形機(3Dプリンター)
- 24p トピックス
沖工連青年部会 会員募集
会員募集のご案内
会員の皆様へ

2015年 7月 工連日誌

- 1日(水) 学校給食における児童生徒を囲んでの昼食会
●時間/12:00~13:00 ●場所/那覇市立金城小学校
街頭キャンペーン及びセレモニー
●時間/16:00~17:00 ●場所/国際通り・県庁前県民広場
- 2日(木) 国・県関係機関への要請(14力所)
- 3日(金) 国・県関係出先機関への要請
- 6日(月) 食品・建材大口需要者への要請
- 7日(火) 本島内市町村・議会への要請(〜7月29日まで)
- 13日(月) 離島市町村・議会への要請(〜8月20日まで)
- 22日(水) ふるさと企業訪問
対象:県産品奨励月間実行委員会構成団体、グッジョブ構成団体
- 24日(金) 県産建材・リサイクル関連企業訪問
対象:県・市町村の土木建築担当課職員、建築設計関連団体職員、企業
- 29日(水) ふるさと企業訪問
対象:新聞公募による一般消費者(親子)
- 31日(金) 沖縄県との県産建設資材優先使用に関する意見交換会
●時間/14:00~15:30 ●場所/沖縄県庁

特許等取得活用
支援事業

知財総合支援窓口

中小企業など知的財産の有効活用をアドバイスします。

ワンストップサービス

秘密厳守

相談無料

個別対応のため予約が必要です

- 知財専門家が窓口常駐
- 知財専門家を派遣
- 知財ニーズの発掘
- 知財に関する支援策の紹介
- インターネット出願を支援

全国共通お問い合せ先



0570-082100 (有料)

098-995-8778

■内閣府沖縄総合事務局委託事業／
実施:一般社団法人沖縄県発明協会

公益社団法人沖縄県工業連合会は「沖縄の産業まつり」や「県産品奨励月間」などの活動を通して、沖縄経済の自立化を目指しています。
●工連ニュースへのご意見・ご要望をお待ちしております。Eメールでもご参加ください。
E-mail/info@okikouren.or.jp ホームページ/http://www.okikouren.or.jp

発行所 / 公益社団法人 沖縄県工業連合会
那覇市字小禄1831-1 沖縄産業支援センター6F
電話 (098) 859-6191 FAX (098) 859-6193
編集・印刷 / 有限会社サン印刷 電話 (098) 889-3679

県内唯一! サッシ形材製造



沖縄の気候風土に合った製品を提供!



ホテルオリオンモトブリゾート&スパ

モトブオリオンリゾート&スパ、那覇新都心リュークスタワー、
リーガロイヤルグラン沖縄の施設等で我が社の製品が採用されています!

那覇新都心に完成した地上30階建ての「リュークスタワーマンション」で採用されました主力製品「ハイパーサッシ」は、当社風洞試験において「96m/秒」相当の風圧に耐えられる事が実証されています。



金秀アルミ工業株式会社
http://kanehide-alumi.com/

管理本部 098-835-8100
営業本部 098-835-8101・8102
生産本部 098-835-8104・8105

VOICE

VOL.105

沖縄高専の新しい取組

最初の国立高専が高度成長期の1961年に地域貢献の人材育成を目指して設立されて早や50年以上が経ち、その中で沖縄高専は最も新しく創設されて12年目を迎えることになりました。この間、日本は高度成長期から「失われた20年」を経て漸く低成長・少子高齢化社会へ変化し、高専の卒業生として国際通用性や、産業の高度化に伴う最先端技術の専門性を持ち、問題解決に柔軟な思考で対応できる人材が求められるようになりました。

事実、50年前の国立高専創立時には、高専本科5年卒業後にほぼ100%の学生が就職していましたが、現在では本科卒業後就職は約60%、高専の専攻科や大学への進学は約40%の比率に変化してまいりました。

この流れと並行して、全国の国立高専は2004年度より独立行政法人・国立高専機構に属するようになり、

「各高専運営の効率化と」地域貢献、「国際性」をより一層求められ、特徴ある人材育成がそれぞれ高専の生き残りの重要な要素となってきました。

このような時代の変化に対応して、本校は、沖縄高専関係各位のご協力を頂いて、機械システム工学科、情報通信システム工学科、メディア情報工学科、生物資源工学科の本科4学科と各学科共通の教養科目を担当する総合科学科、本科卒業等の後に更に高度な専門教育を行う2年制の専攻科を置いて、其々の専門性に優れ、コミュニケーション能力を持ち、地域貢献に意欲的な人材を輩出してきております。

これからの新しい取組として、「沖縄21世紀ビジョン基本計画」に基づく沖縄の発展計画に対応し、2015年度より日本の航空会社（ANA、JTA等）や重工業メーカー等のご協力を頂き、更に大学等の教育機関のご協力も得て、国立高専として初となる

「航空技術者プログラム」を開設しました。本プログラムは、2015年6月1日に設立発表のあった、ANAホールディングス株式会社（ANAHD）や三菱重工業株式会社（MHI）等が共同出資する航空機整備会社

社「MRO（Maintenance, Repair, Overhaul）Japan」向けの人材養成や、更に沖縄高専専攻科修了時に、航空関連重工業メーカーや関連企業への就職、また、航空宇宙工学関係への進学を目指す人材育成プログラムであります。

また、昨今、社会的に重要視されている情報セキュリティ人材や医工連携人材育成等の新規プロジェクトにも、国、県、企業や他の高等教育機関等と協力して積極的に取り組んでおります。

沖縄高専は関係者と一体と



国立沖縄工業高等専門学校
校長 安藤 安則

なり、より良い教育の実現に向けて精進してまいりますので、今後ともご支援のほど宜しくお願い申し上げます。



県産品の自給率向上は 県内の産業と雇用に 大きな効果を生み出す



今年も7月1日（水）の街頭キャンペーンを皮切りに「2015年県産品奨励月間」がスタートし、7月31日金までの期間中、県産品奨励に関する各種事業や広報キャンペーンが実施されました。

同事業の一環として7月2日（木）から行われた、県産品使用奨励についての要請活動では、沖縄県工業連合会、沖縄県JIS協会、沖縄県酒造組合、沖縄県商工会連合会、沖縄県商工会議所連合会5団体の役員並びに会員企業が参加し、国や県、市町村・議会、食品・建材の大口需要者など143カ所に対して、県内企業への優先発注及び県産品の優先使用を要請しました。

要請団は「県産品奨励運動は、県産品の需要拡大を図ることで、県内企業の育成強化と雇用の拡大を促進し、もって県経済の活性化を推進することを目的として業界・行政及び消費者団体などが一体となって進めている活動である」とし、県産品愛用運動の重要性

を述べました。また、本県の高い失業率を引き下げるために県を中心に団体、企業、教育機関など県民一体となって取り組んでいる「みんながグッジョブ運動」においても「県産品愛用運動」が雇用拡大の重要な事業として位置づけられていることを説明。さらに県内で派生する廃棄物は、本県が島嶼地域であるために深刻な環境問題を引き起こしています。この問題の解決のためにも、県内リサイクル資材・製品についても優先使用が必要であることを訴えました。

最後に要請団は、業界の生産技術及び品質の向上に向けてさらなる努力の約束と、県内企業への優先発注及び県産品の優先使用についての協力を改めて呼びかけました。各要請先では、要請の内容に対し多くの理解を得ることができました。

県産品の自給率向上が県内の産業と雇用に大きな効果を生み出すことについては、最新のデータに基づきシミュレーションした結果、自給率が6%伸びた場合の生産誘発額が約920億円、雇用者数で約1万人の経済効果があることが証明されています。

従って、本県の経済を安定させ、自立型経済を確立するためには、地場産業の振興を図ることが最も有効な手段といえます。

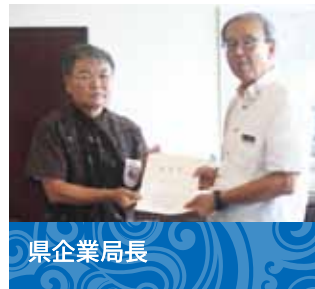
「県産品奨励月間」は、復帰前の島産品愛用運動から50年余り続いている事業。県民一人ひとりが県産品を愛用するという、身近な事から行動に移せる運動であり、最終的には自立経済へ結びつく大きな一歩となっています。今後も継続していかねばならない重要な運動です。



県知事



県教育長



県企業局長



沖縄総合事務局長



県議会議長



（一社）沖縄県銀行協会



沖縄振興開発金融公庫



JA沖縄中央会

要請訪問 7月3日(金)・6日(月)



2015年 県産品奨励月間
県産品の自給率向上は県内の産業と雇用に大きな効果を生み出す



那覇港湾・空港整備事務所



南部国道事務所



沖縄防衛局



北部ダム統合管理事務所



北部国道事務所



国営沖縄記念公園事務所



南部土木事務所



南部農林土木事務所



中部土木事務所



中部農林土木事務所



北部土木事務所



北部農林水産振興センター



沖縄県学校栄養士会



沖縄県学校給食会



日本郵便(株)沖縄支社



金秀商事(株)



(株)リウボウインダストリー



(株)リウボウストア



(株)丸大



イオン琉球(株)

2015年 県産品奨励月間 要請書特記事項

要 請 先	要 請 団 体	要 請 項 目
沖縄県 (企業局・教育庁)	沖縄県工業連合会 沖縄県JIS協会 沖縄県酒造組合 沖縄県商工会連合会 沖縄県商工会議所連合会 (5団体)	公共工事発注の際の特記仕様書の中に「県産リサイクル資材の優先使用」を明記していただき感謝を申し上げます。今後とも県内で製造されたリサイクル製品の使用についてもご配慮賜りますようお願い申し上げます。
県議会	(5団体)	今後とも引き続き県産品の優先使用について啓蒙啓発に努めていただきますようお願い申し上げます。
沖縄総合事務局 (農林・開建・経産)	(5団体)	1.公共工事の執行にあたっては、県内企業へ優先発注するとともに県産建設資材の優先使用を徹底していただきますようお願い申し上げます。 2.貴機関で使用する物品等の購入について県産品を優先使用していただきますようお願い申し上げます。
沖縄振興開発金融公庫 沖縄県銀行協会	(5団体)	企業等への融資に際し、県内企業への優先発注及び県産品の優先使用について奨励していただきますようお願い申し上げます。
自衛隊 (航空・海上・陸上) 防衛弘済会 (4力所)	(5団体)	1.公共工事の発注にあたっては、地元企業を優先すると同時に特記仕様書に県産品の優先使用を明記していただきますようお願い申し上げます。 2.貴自衛隊が発注する消費関連商品についても県産品の優先使用を徹底していただきますようお願い申し上げます。 (防衛弘済会) 貴会が発注する消費関連商品につきましては県産品の優先使用を徹底していただきますようお願い申し上げます。
JA JA中央会 JAおきなわ 共済連 沖縄県花卉園芸農業協同組合	(5団体)	1.貴JA(組合)が発注する施設等の建設工事及び農業関連資材並びに肥料、飼料等について県産品の優先使用を徹底していただきますようお願い申し上げます。 2.貴JA(組合)が主催する各種行事において購入される消費関連商品については、県産品の優先使用を徹底していただきますようお願い申し上げます。 (JAおきなわ) 3.Aコープ等において、積極的に県産品の販路開拓に努めていただくと共に「県産品」の表示についてご配慮をお願い申し上げます。
国関係出先機関 ※離島含む	(5団体)	1.公共工事の執行にあたっては、県内企業へ優先発注するとともに県産建設資材の優先使用を徹底していただきますようお願い申し上げます。 2.貴機関で使用する物品等の購入について県産品を優先使用していただきますようお願い申し上げます。
県関係出先機関 ※離島含む	(5団体)	1.昭和59年7月3日、県当局が策定いたしました「県内企業への優先発注及び県産品の優先使用基本方針」に基づき、県産建設資材等を優先的にご使用いただいていることは存じますが今後共、なお一層徹底していただきますようお願い申し上げます。 2.現在、県が施行している「沖縄県リサイクル資材評価認定制度」に基づき、公共工事発注の際には、特記仕様書の中に「県産リサイクル資材の優先使用」を明記していただいておりますが、今後とも徹底していただきますようお願い申し上げます。

要請訪問 7月7日(火)・27日(月)



2015年 県産品奨励月間

県産品の自給率向上は県内の産業と雇用に大きな効果を生み出す

要 請 先	要 請 団 体	要 請 項 目
市町村 (41カ所)	〔5団体〕	1.公共工事の発注にあたっては、地元企業を優先すると同時に特記仕様書に明記してある県産建設資材の優先使用について業者への指導を徹底していただきますようお願い申し上げます。 2.特記仕様書の中に沖縄県が認定した「県産リサイクル資材」(ゆいくる材)の優先使用を追加して記していただきますようお願い申し上げます。 3.再生資源等を用いて製造された「県産リサイクル製品」について優先使用していただきますようお願い申し上げます。 4.貴市町村で使用する物品等について県産品を優先使用していただき、同時に市町村民にも県産品の優先使用の意義を啓蒙していただきますようお願い申し上げます。
市町村議会 (41カ所)	〔5団体〕	県産品の優先使用について、議会で決議していただき県産品の啓蒙啓発に努めていただきますようお願い申し上げます。 (決議をした市町村のみ) 県産品の優先使用について、「県産品愛用宣言決議」をしていただき感謝を申し上げます。なお、今後も引き続き県産品の優先使用について啓蒙啓発に努めていただきますようお願い申し上げます。



那覇市



那覇市議会



豊見城市



豊見城市議会



糸満市



糸満市議会



八重瀬町



南城市



南城市議会



浦添市



宜野湾市



宜野湾市議会



北谷町



北中城村



沖縄市



うるま市

要請訪問 7月6日(月)



2015年 県産品奨励月間

県産品の自給率向上は県内の産業と雇用に大きな効果を生み出す

要 請 先	要 請 団 体	要 請 項 目
食品大口需要者	〔5団体〕	県産品コーナーの設置や県産品の表示をするなど、県産品の販路拡大についてご配慮をいただきますようお願い申し上げます。
日本郵便沖縄支社	〔5団体〕	1.貴社が発注する消費関連商品につきましては県産品の優先使用を徹底していただきますようお願い申し上げます。 2.ふるさと小包等において、積極的に県産品の販路開拓に努めていただきますようご配慮をお願い申し上げます。
沖縄県学校給食会 沖縄県学校栄養士会	＊酒造組合除く 〔4団体〕	学校給食の食材について県産品を優先使用していただきますよう特段のご配慮をお願い申し上げます。
NTT西日本沖縄支店 沖縄電力	〔5団体〕	工事の施工にあたっては、県内企業を優先するとともに特記仕様書に県産品の優先使用を明記していただきますようお願い申し上げます。
沖縄県建設業協会 沖縄県電気管工事業協会	〔5団体〕	公共工事及び民間工事の施工にあたっては、県産建設資材の優先使用について特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。
沖縄県建築士会 沖縄県建築士事務所協会 沖縄県設備設計事務所協会 沖縄県測量建設コンサルタンツ協会 沖縄県土地改良事業連合会	〔5団体〕	公共工事及び民間工事の設計にあたっては、県産建設資材の優先使用を特記仕様書に明記していただきますようご配慮をお願い申し上げます。
メイクマン 佐久本工機 金秀興産(カインズホーム)	〔5団体〕	県産資材並びに再生資源等を用いて製造された「県産リサイクル資材」(ゆいくる材)の取り扱いについてご配慮賜りますようお願い申し上げます。



(一社)沖縄県建設業協会



(一社)沖縄県建築士事務所協会



(一社)沖縄県設備設計事務所協会

(一社)沖縄県測量建設
コンサルタンツ協会

(一社)沖縄県電気管工事業協会



(公社)沖縄建築士会



金秀興産(株)



沖縄電力(株)

要請訪問 7月13日(月)・14日(火)・17日(金)



2015年 県産品奨励月間
県産品の自給率向上は県内の産業と雇用に大きな効果を生み出す



宮古島市



多良間村



渡嘉敷村



石垣港湾事務所

要請訪問 7月13日(月)・14日(火)・16日(木)・28日(火)



2015年 県産品奨励月間
県産品の自給率向上は県内の産業と雇用に大きな効果を生み出す



名護市



名護市議会



今帰仁村



今帰仁村議会

**ダンボール・パッケージの
総合紙器**
(098) 992-1111

いいね〜これ!!
久米島の久米仙パウチタイプ13度
内容量900ml アルコール分13度
お酒は20歳になってから、妊産婦の飲酒はお控えください。お酒は適量に。 県産品を愛用しましょう。

シャッター製作・販売・施工
鋼製建具一式・ステンレス建具一式

BX 文化シャッターグループ
BX 沖縄文化シャッター株式会社

代表取締役 下田 伸一

〒901-0205 沖縄県豊見城市字根差部667番地
TEL: 098-850-6116 FAX: 098-850-6141

meiji
明治グループ

県民の健康と生活文化の創造に貢献する

沖縄明治乳業株式会社

〒901-2502 沖縄県浦添市牧港1-65-1 TEL (098) 877-5274

ゆめちからスリ
塩バターパン
バターと塩の風味豊かな食卓パンです。
「ゆめちから」の小麦粉を75%以上使用 (全量使用可)

好評発売中

“県産品”トイレブース【耐水仕様】・アルミパーティションメーカー

三和シャッター
沖縄三和シャッター株式会社

代表取締役社長 尾上 裕昭

〒901-0212 豊見城市字平良 84-1

本 社 TEL. (098) 840-5538 沖縄北営業所 TEL. (098) 965-5538
製造部 TEL. (098) 965-5151 石垣営業所 TEL. (0980) 83-3838
http://www.okinawa-sanwa.co.jp/

地域応援! **オキハム** の農工商連携商品

伊江村 本部町 金武町 読谷村 恩納村 豊見城市 与那国町

地元の特産品を活用し、商品を開発しています。

人と人をつなぐ 幸せを、いつまでも。

KOBUNDO
Communications

光文堂コミュニケーションズ(株)
おかげさまで65周年

本 社 〒901-1111 沖縄県島尻郡南風原町字兼城577番地
TEL. 098-889-1131
東京支店 〒102-0074 東京都千代田区九段南4-5-12
ABEビル6F TEL. 03-3239-8900
http://www.kobundo.net



本部町



本部町議会



国頭村



国頭村議会



東村



東村議会



大宜味村



大宜味村議会



金武町



宜野座村



恩納村



読谷村



伊江村



伊江村議会



伊是名村



伊是名村議会



粟国村



粟国村議会



石垣市



与那国町

「県産品を全国へ、海外へ」をテーマに2015年度「沖縄の物産と観光フェア」が開催されました。

2011年12月に沖縄県とイオン株式会社とが締結した「包括的連携協定」に基づき、地産地消の推進と県産品の販路拡大、また沖縄観光の推進を図る目的で開始されたものであり、毎年県内イオン各店舗にて県産品を訴求しています。

今年度もイオン、マックスバリュ、全40店舗にて7月2日(木)～6日(月)の期間中、食品、飲料品、雑貨など幅広く展開されました。

今年4月にオープンした県内最大のイオンライカム店では、開催を記念して、7月2日(木)セレモニーが行われています。

イオンライカム店1Fアクアリウム前に設置された特設ステージにおいて行われたセレモニーでは、勇壮なエイサーの演舞や可愛らしいゆるキャラたちの競演が訪れた人々を楽しませました。

イオン琉球株式会社 末吉康敏 取締役会長は「県産品愛用により沖縄県の産業は活性化される。イオン琉球も今年で創業40周年を迎え、県民への感謝を形にするためにも、よりいっそう地域に根差した活動に力を入れていかなければ」と挨拶し、フェア



イオン琉球(株) 取締役会長 末吉康敏氏
(公社)沖縄県工業連合会 副会長 新垣昌光氏
(一財)沖縄観光コンベンションビューロー 常務理事 譜久山 健氏

期間中はもちろん、今後も県産品の積極的な販売促進を進めたいとしました。

セレモニーにはミス沖縄、泡盛の女王も参加し、訪れた200名の客に県産黒糖を手渡すなど県産品のPRに務めました。

イオンライカム店では、県産野菜や菓子、化粧品など27社の商品が販売され、好評を得ました。

中小企業において切実な問題のひとつが事業承継です。沖縄県においても、経営者の高齢化により事業継続が困難となるケースが相次いでおり、独立行政法人中小企業基盤整備機構によると、現在、県内企業の経営者が60歳代の企業の内84.1%が後継者不在となっています。沖縄事務所に事業承継コーディネーターを務める平敷太介氏は、「順調に業績を上げているのにも関わらず、スムーズな事業承継ができないことで廃業に追い込まれるケースもある」とし、早めの事業承継対策を推奨しています。

同所沖縄県事業引き継ぎ支援センター主催により、7月21日(火)沖縄産業支援センターで開催された中小企業事業承継セミナーでは、事業承継の現状や押さえておくべきポイントについて講義が行われました。

平敷氏はこの中で「事業承継は『事業のバトンタッチである』とし、経営者と後継者の共同作業により、目に見えにくい経営資源の承継を行うことが重要である」と話しました。

また、事業承継事例紹介として、拓南製鐵株式会社代表取締役社長古波津昇氏による講義も行われ、実父である創業者よ



(公社)沖縄県工業連合会 副会長 古波津 昇氏

沖縄の物産と観光フェアinイオンライカム

ここがポイント！中小企業事業継承セミナー

平成27年7月21日(火) 沖縄産業支援センター

り拓南グループの経営を引き継いだ経験から、事業承継の課題や重視すべき点について語られました。「もっとも重要なのは創業理念の継承である」と古波津氏は話し、二代目として様々な工夫や挑戦をしていながらも創業当時の理念を蔑ろにしないという確固たる姿勢を見せています。

沖縄県事業引き継ぎ支援センターでは中小企業の第3者承継(M&A)を支援する公的機関として後継者不在企業の相談にも乗っており、セミナー終了後には個別相談会も開かれました。

平敷氏は「早めに事業承継を意識することで後継者不在による中小企業の廃業・休業防止につながれば」と中小企業のトップに向け積極的なサポート活用を呼びかけました。

●那覇市 平成26年度主要建設資材の県産品使用状況

資材名	単位	使用量(a)	県産品使用量(b)	使用割合(b/a×100)
鉄筋	t	6,416.6	6,416.6	100%
セメント(生コン除く)	t	923.9	823.1	89.1%
アルミサッシ	m ²	7,104.2	5,793.4	81.5%
塩化ビニールパイプ	m	22,562.1	20,921.5	92.7%
鋳物製品(マンホール・グレーチング)	枚	1,145.0	1,130.0	98.7%
コンクリート2次製品(杭)	本	256.0	256.0	100%
ワイヤメッシュ	m ²	4,308.3	4,308.3	100%
FRP浄化槽	基	0	0	0
高架水槽	基	1	1	100%
アルミ形材	t	0.05	0.0	0%
PC橋桁(プレテンション方式)	t	0	0	0

●豊見城市 平成26年度主要建設資材の県産品使用状況

資材名	単位	使用総数量A	県産品使用数量B	使用比率 B/A(%)
鉄筋	t	2,460.1	2,460.1	100.0%
セメント(生コン除く)	t	27,205.1	27,205.1	100.0%
アルミサッシ	m ²	1,789.2	1,789.2	100.0%
塩化ビニールパイプ	m	5,274.6	3,947.0	74.8%
鋳物製品(マンホール、グレーチング)	枚	241.0	220.0	91.3%
コンクリート2次製品(杭)	本	235.0	235.0	100.0%
ワイヤメッシュ	m ²	1,086.2	1,086.2	100.0%
FRP浄化槽	基	0.0	0.0	0.0%
高架水槽	基	0.0	0.0	0.0%
アルミ形材	t	0.0	0.0	0.0%
PC橋桁(プレテンション方式)	t	1,944.0	1,944.0	100.0%

●浦添市 平成26年度主要建設資材の県産品使用状況

資材名	単位	使用総数量A	県産品使用数量B	使用比率 B/A(%)
鉄筋	t	1,346.5	1,346.5	100.0%
セメント(生コン除く)	t	3,933.7	3,933.7	100.0%
アルミサッシ	m ²	1,951.8	1,951.8	100.0%
塩化ビニールパイプ	m	5,276.7	2,684.2	50.9%
鋳物製品(マンホール、グレーチング)	枚	448.0	442.0	98.7%
コンクリート2次製品(杭)	本	48.0	48.0	100.0%
ワイヤメッシュ	m ²	316.1	316.1	100.0%
FRP浄化槽	基	0.0	0.0	0
高架水槽	基	2.0	0.0	0.0%
アルミ形材	t	0.0	0.0	0
PC橋桁(プレテンション方式)	t	0.0	0.0	0

●北谷町 平成26年度主要建設資材の県産品使用状況

資材名	単位	使用総数量	県産品数量	使用比率
鉄筋	t	231.15	231.15	100.00%
セメント(生コン除く)	t	87,640.00	86,265.00	98.44%
アルミサッシ	m ²	0.00	0.00	0.00
塩化ビニールパイプ	m	869.00	313.00	36.02%
鋳物製品	枚	65.00	35.00	53.85%
コンクリート2次製品	本	110.00	110.00	100.00%
ワイヤメッシュ	m ²	72.00	72.00	100.00%
FRP浄化槽	基	0.00	0.00	0.00
高架水槽	基	0.00	0.00	0.00
アルミ形材	t	0.00	0.00	0.00
PC橋桁(プレテンション方式)	t	0.00	0.00	0.00



琉球ガラス村
RYUKYU GLASS CRAFT

信頼で創るより良い環境

電気設備工事・電気通信工事・消防施設工事 施工

沖縄電水工事株式会社

代表取締役 小波津 聡

本社 〒900-0016 那覇市前島2丁目1番10号 TEL(098)867-6311(代) FAX(098)868-3282
西原営業所 〒903-0117 西原町 翁 長 2 4 0 - 1 TEL(098)945-4742 FAX(098)945-4728



Orion

NEW!
爽快という
うまさ。

DRAFT BEER

④ 飲酒は20歳になってから。飲酒運転は法律で禁止されています。のんだあとはリサイクル

自然との調和を求めて・・・新しい時代の新しい技術



株式会社 技建

代表取締役社長 津波 古 義 秀

日本工業規格表 示認証工場
ISO 9001.140001 認証取得

本社 〒901-1207 南城市大里字古堅1246番地 電話098-945-2787
ホームページ <http://www.gikenpc.co.jp> FAX098-945-1181

●オキボール ●沖縄ハイボール ●照明・防球ネット用ボール
●防災無線・携帯電話アンテナ用ボール ●ボール建柱工事施工一式
●都市景観美化用コンクリート製品全般 ●PHC・CPRCパイル
●高支持力杭工法及び各種杭打工法の施工 ●C.C.BOX(電線共同溝)
●その他地中化製品 ●テールアルメ工法(補強土壁工法)
●プレキャスト製品の設計・製造販売・施工

コンクリートテクノロジーの未来をみつめて

沖縄テクノブリー株式会社

代表取締役社長 仲本 幸文

本社 〒900-0003 沖縄県那覇市字安謝620番地 TEL.(098) 868-2522
海邦工場 〒904-2162 沖縄県沖縄市海邦町3番地1 TEL.(098) 934-5512

永年の施工実績を誇る

安心・安全・信頼の品質「既製コンクリートくい」

日本工業規格認証取得工場 ●日本下水道協会認定工場
日本建築センター評定取得工場 ●COPITA 評価取得工場

リウコン株式会社

代表取締役社長 大 城 正 治

〒903-0103 沖縄県中頭郡西原町字小那覇1187番地
TEL: 098-945-3778(代) FAX: 098-945-5065
www.riukon.co.jp リウコン 検索

人と地球に優しい技術を創造する

株式会社 ゼロテクノ沖縄
Zero-emission Technology Okinawa

代表取締役社長
岡田 秀 敏

本社 〒904-2234 沖縄県うるま市字州崎7番地22
TEL 098-939-1181 FAX 098-939-1180
福岡事務所 〒810-0073 福岡市中央区舞鶴1丁目4-7-211
TEL 092-771-6699 FAX 092-771-6669
大阪事務所 〒590-0834 大阪府堺市堺区出島町3丁目3-18
TEL 072-242-7423 FAX 072-243-2152

県産品を愛用しましょう。

郷土の資源で郷土をつくる

琉球セメント

代表取締役社長 西 村 聡

**沖縄県コンクリート
二次製品協同組合**

理事長 大 城 保 一
副理事長 又 吉 安 弘
副理事長 新 垣 力 太

沖縄県宜野湾市大山7-3-16 TEL(098)898-7785(代)

マンホール鉄蓋で郷土の環境作りに奉仕する

沖縄鋳鉄工業株式会社

沖縄県リサイクル資材評価認定
マンホール鉄蓋 第17-1号 再生プラスチック第11-2号

代表取締役
眞志喜 実

西原町字小那覇958番地
TEL(098)945-5453 FAX(098)945-5924

水は宝・・・一滴を大切に



詳しくお問い合わせはお気軽に

有限会社 津嘉山ステンレス工業
TEL.(098)929-2129

独自の発酵技術で生まれた「醗酵ウコン」をお届けします。

琉球バイオリソース販売株式会社

代表取締役 照屋 講裕

〒904-2234 沖縄県うるま市字州崎5-1
TEL:098-989-7064・FAX:098-982-1193 ●URL:<http://rbr.co.jp>

琉球王朝 秘伝。

キャッスルスカイビアドーム 2015

生ビール飲み放題、食べ放題！
ステージではライブもあり！
ホテル20階「スカイビュープラザ」で
那覇の夜景を楽しみください。

【8月の開催日】
8月6・7・13・14・21日
※開催日は変更になる場合がございます。
ご予約の際にご確認ください。

ご予約・お問合せ: Tel.098-886-5464 [宴会予約係]
www.hotelnikkonaha.co.jp

ホテル日航那覇 グランドキャッスル



残暑お見舞い
申し上げます。

県内企業訪問

ふるさと企業 県産建材・リサイクル関連企業



県産品奨励月間事業の一環である「ふるさと企業訪問」及び「県産建材・リサイクル関連企業訪問」が7月22日（水）、24日（金）、30日（水）におこなわれました。

これは、県内企業を訪問してもらい、地場産業への理解を深めることを目的に毎年実施しているもので、今年も県内企業24社を訪問しました。

29日（水）開催の「ふるさと企業訪

問」は、一般参加者と親子を対象に7月1日の「県産品の日」の新聞両紙で募集。全4コースに応募した143名の方が参加しました。夏休みに入ったこともあり、多くの親子連れや一般の参加者で賑わいました。

24日（金）に実施された「県産建材・リサイクル関連企業訪問」は、県内のリサイクル関連企業についての認識を深める目的で、県・市町村の土木建築担

当課や建築関連団体の会員を対象に開催。全2コースに50名の参加者がありました。

県からは企業立地推進課・企業局・環境整備課・ものづくり振興課。市町村からは那覇市・沖縄市・豊見城市などが参加。また、建築関連企業などの参加も見られました。

参加者の声

ふるさと企業訪問へ7月29日 対象／一般・親子

★どの会社もとても勉強になり、沖縄にもすごい会社がたくさんあると感心しました。★県産品は素晴らしい、今後も頑張っていました。★応援したい。★県産品は、自給率UPに協力します。★県産品愛用を心がけ、より一層県内企業が発展するように協力したいと思います。★県産品の良さを知れて本当に良かったです。★ありがたかったです。★「ふるさと企業訪問」本当に素晴らしい企画だと思います。★親子で地元企業を回り、普段何気なく使用したり、食したりしている製品が、どのように作られているかを体感する新たな「気付き」があります。★今回参加し、更に県産品愛用の気運が高まり、沖縄からもっと沢山、日本・世界を驚かせる企業が出てほしいと思います。★沖縄から開発されて、全国、世界へと広がっていることはとても素晴らしい感動しました。もっともっと沖縄の人が全国へ広がってほしいと思います。★なかなか見ることが出来ないものが、子供達と一緒に体験できてとても良かったです。また来年別のコースで参加したいと思います。

★頑張っている沖縄の企業の方の様子を知ることができ、一日を楽しく過ごすことが出来ました。★ありがたかったです。★機械で自動化されており、工場で働く人が少ないところにビックリしました。★沖縄の技術に感心しました。★各企業の皆様方の快い協力の下で、今年も有意義に子供達と地元産品を愛用する事の意義を学べたと思います。★来年も都合が合えば是非参加したいです。★有意義で貴重な体験をさせていただきありがとうございました。★猛暑の中本当にありがたかったです。★各工場の担当者さん、熱心な説明ありがとうございました。★社会にでると工場見学はなかなかないので、とても有意義だったと思う。★県産品を使って雇用拡大に少しでも協力できることがあればいいと思います。★県産品として身近にある物ですが、見学説明を受けて愛おしくなり、この情報をまわりに伝えてもっと県産品を活用したいと思いました。★ありがたうございました。★沖ハムさんの屋敷に大満足!! ★屋敷沖ハムのスポンメンチカツがおいしかった。一度スポンメンチカツを食べたいと思ったので、メンチカツは食べやすかったです。

機会があったらスポン鍋やスポンの卵も食べてみたいです。★琉球セメントのリサイクル型工場としての機能にふれることができて、とても良かったです。★工場で働く人たちは、暑かったり寒かったりする中で、本当に大変だと思いました。★新里酒造のパッションフルーツのお酒飲みたかったです。早く大人になつて飲みたいと思います。★沖縄の企業の品質維持、向上への努力に感動しました。★特に光文堂「コミュニケーションズ」さんの品質・生産性を上げるための努力は、1年2年どころではなく、何年も蓄積した企業努力の成果だと感じました。★うちなんちゅとして、これから県内企業の物を使っていきたいです。★また、県外へもどんどんお中元・お歳暮に利用しようと思つた次第です。★来年も是非参加させてください。★ダンボールの作り方など、初めて分かったことがたくさんあったので、とても勉強になった。★ありがたうございました。★興味のあった日用品の作り方を見学出来て良かったです。★ありがたうございました。★みのりさんは、肥料を使ってエコをしようとしてとても自然を大切にしてたのですごかったです。★みのりを見学したが、鳥骨鶏とイノブタがいて、展望台もあり楽しかったです。★オリオンビールさんは、説明が分かりやすく、勉強になりました。★沖縄タイムスさんは、深夜1時から頑張っている

るのですごかったです。★トリムを初めて訪問し、廃材であるビンを加工し、スーパースールを開発し、土木資材や緑化資材等多方面の利用可能なものを作り、日本全土への工場や台湾への進出等、とても素晴らしいことだと感じました。★また他の企業も是非見学してみたい。★沖縄に住んでいても初めて知ったこともあり、驚きました。★特にガラス瓶から軽石になる技術は沖縄からできたという事にはビックリしました。★今回のふるさと企業訪問に参加して良かったです。★ありがたうございました。★明治乳業さんの牛乳が県内の乳牛から作られていることを初めて知りました。★安心安全、そしておいしい商品を目指して厳しい検査の元商品が作られていてうれしく思います。★牛乳を出荷するには、いくつかの厳しい検査を合格した物だけが出荷できるということが分かった。★めちまーす高安社長のあきらめない努力に感動する素晴らしい商品がありがたうございました。★塩にはいろんなものが出ていますが、めちまーすは、こんなに良いものとは知りませんでした。★まわりの人にも体に良い塩として勧めます。★ヘリオス酒造のもろみ酢がとてもおいしかったです。★恩納ガラスさんは、昔ながらのデザインも素敵ですが、新しいアートな窓ガラスや表札も素晴らしいです。

参加者の声

県産建材・リサイクル関連企業訪問へ7月24日 対象／国・県・市町村及び団体等の土木建築関係者

★現在、予算を担当しており課の事業内容を書類で確認しているが、実際のものづくりの現場を見る事ができ、大変勉強になった。★産業廃棄物を原料に新たなものを作り、それが雇用の創出にもなっているなんてすごいです。★10年以上前に企業訪問したことがありますが、当時比べ、リサイクルがかなり進んでいるという印象を持ちました。★いろいろな材料など、産業界をあげて努力された結果だと思えます。★産業廃棄物の処分場の問題など、県内では環境問題は厳しい状況にありますが、今日の企業訪問を通して、明るい展望を持ちました。★県内企業も頑張っていると感じました。★今後も機会があれば参加したい。★次回も3R（リデュース、リユース、リサイクル）に積極的に取り組んでいる企業を紹介してほしいと思います。★各企業にて県産建材等の生産状況を見て、県産品の質の良さや信頼性を感じました。★来以降も自分の業務に関連するものがある参加したいと思った。★各社の様々な特徴を知ることができ、見学できて良い経験になりました。★リサイクルの工程を見ることができて大変勉強になった。★県産品を使用することによるメリットを知り、活用していきたいと感じました。★ぜひ来年も開催してほしい。★県内企業が活躍しているのを見ることができ、大変うれしく思いました。★初めて知る商品、技術がたくさんありとても勉強になりました。★ありがたうございました。★商品やリサイクルの取り組みをパンフレット等だけで見ることが出来た。★県産品の利用を今後検討していきたいと思えました。★会社名は聞いたことがあるが、今日初めて現場に足を運んで素晴らしい企業が沖縄で頑張っていることを改めて実感しました。

1日で数か所を効率良くめぐり、有意義だった。★県産品を愛用し、沖縄の企業を応援したい。★トリムさん、ゼロテクノさんの今後の成長が楽しみ。★リサイクルには手間とコストがかかることを再確認し、頭が下がる思いです。★百聞よりは一見だと感じた。★今年より環境の担当になり、情報を得る良い機会となりました。★視察先もこれからの産業をリードしていく会社だと感じました。★次年度もぜひ参加したいです。★各社とも心意気を感じました。★ぜひ継続してほしいと思います。



(名)新里酒造



沖縄電力(株) 具志川火力発電所



(株)恩納ガラス工芸育成センター



昭和製紙(株)



沖縄明治乳業(株)



(株)めちまーす



Gala青い海



(有)みのり



オリオンビール(株)



(株)ざまみダンボール



タイガー産業株式会社
代表取締役社長 島袋太悟



8月より市場に出る新製品。
社員のアイデアと情熱が詰まっ
ています。(写真右上)



仕事を通じて『人間力』を磨き 地域・社会へ貢献

タイガー産業では「アイデア会」と称される定期的な会議の場が設けられており、社員が自身のアイデアや意見を発表できる機会を積極的に作っているといえます。今年4月に入社したばかりの新人社員も畏怖することなく積極的にプレゼンテーションを行っています。

社内の風通しがよくなり、多彩なアイデアが生まれることにより、業績にも好影響が出つあると島袋氏は話します。

今年発表された「T G パイル工法(回転圧入鋼管杭)および「T G m 工法(先端翼付き鋼管を用いた杭状地盤補強工法)」は、従来の製品や工法よりもさらに高品質でコスト削減できるものという研究の成果から生まれたものです。小型杭打ち機を使用することで狭小地での施工が可能になり、残土が出ないため残土処理が不要になるというメリットがあり、県産品として正式に認定も受けています。既存パイルの後継としてタイガー工業の県内工場で製造し、真の県産品として県外、国外へ誇れるものになりたいと意気込んでいます。8月より市場に出されることになっており、社員の士気も上がっているといえます。



キラリ!
元氣
カンパニー
沖縄の未来を
照らす企業

100年続く企業目指し 『人間力』を磨く

タイガー産業株式会社

建築資材の迅速な提供で 沖縄の建築業界を支える

タイガー産業株式会社の設立は昭和54年。金物製品を取り扱っていた島袋金物株式会社より分離独立し、建築資材の卸業者としてその歴史をスタートさせました。また、タイガー工業株式会社を昭和59年に設立し、卸売のみならず製造にも力を入れることで徐々に事業を拡大していき、現在では仙台、東京、大阪に営業所を持ち、中国、香港にも進出。うるま市の本社は約5000坪の敷地を誇り、約50台のトラックがほぼ毎日全車稼働しています。

平成25年には創業者の島袋盛義氏が代表取締役会長に、実子である島袋太悟氏が代表取締役社長に就任し、新体制となつて2年が経過しました。さらに進化を続けるタイガー産業の創業当時から変わらない、大切にしていく精神について伺いました。

「それは、チャレンジ精神です。私がかつとも尊敬している先代の後姿です。卸売ばかりに頼っている先はないと、製造業に挑戦したり、沖縄から本土・世界へ積極的に打つて出る姿勢が、会社をここまで成長させてきました。」

インターネットが発達した現在、企業がメーカーと直接交渉・注文することが可能になり、卸売問屋の数も減少しつつあるといえます。製造・販売いずれも自社内で行

うことにより、世の中の流れにうまく乗ることができた」と島袋氏は考えます。沖縄県の場合、他府県と海で隔てられているという地理的事情があり、まだまだニーズはあります。県外の資材を使用する場合でも、悪天候で到着が遅れるリスクを考えると、注文を受けてすぐに現地へ届け、しかも安価で提供できるという当社のサービスを頼りにしていただけていると自負しています。

現在、国内450社、国外30社の仕入れ先を持ち、広大な倉庫内には約30,000点の様々な資材が保管されています。その管理・維持・配送だけでも多数の人員費が必要になる一方で、現在では2割ほどの割合である製造部にも今後力を入れていきたいと話します。

「現在の沖縄は建築景気ともいわれていますが、当然ながら永遠に好景気が続くわけではなく、2020年頃には現在よりも大きく下降していくのではないかと予想します。そのときになって慌てないためには、今のうちに製造・開発部門に投資せねばならないと考えています。」

製品開発課を増員し、自社で製品開発、企画提案まですべて網羅できる体制作りにも励んでいます。

「営業・開発、すべてにおいてスペシャリストであった先代が現場を離れた今、二代目としてできることは、先代の真似をすることではなく、人材を育てることだと考えています。上司の命令を機械的にこなすのでは

「それほどデジタル化が進んでも、機械を操作するのは人間です。仕入れ、管理し、製造し、販売するという作業の中でもっとも重要なのは、理念や志です。沖縄をもっとよくしたい、建築業界を支えたいという思い。建築資材の提供を通して誰かの役に立っているのだというやりがい。それらに支えられて日々仕事に打ち込むことができます。心を磨き、技術を磨くことで、地元・沖縄に貢献していければと考えています」と、島袋氏も確かな手ごたえを感じているようです。

「『早い、安い、なんでもある』という創業当時の基盤はそのままに、社会のニーズにしっかりと応え、進化を重ねることで、『100年続く企業』を目指します」と力強く語りました。



タイガー産業株式会社

業種 建築・土木資材等製造卸売
設立 昭和54年6月1日
代表者 代表取締役社長 島袋太悟
住所・連絡先 本社：沖縄県うるま市字州崎12番地11
TEL.098-982-1888・FAX.098-982-1857
http://www.tiger-sg.co.jp
オフィシャル
サイト

第44回 沖縄県発明くふう展 作品募集

【趣旨・目的】

日常生活から産業技術にわたる各分野において、独創性に富む発明・考案・意匠を広く県民に紹介し、その実施化を促進すると同時に相互利用を図ることにより、県民生活の向上及び県内産業の発展に寄与することを目的とする他、発明の奨励と知的財産の普及啓発活動を行う事により、県民の知的財産への関心を高め知的財産カルチャーの醸成を図る。



応募方法について

■応募対象

特許・実用新案・意匠

■応募資格

沖縄県内に在住又は居所を有する者で、発明者、考案者及び創作者又は出願人
※発明者、考案者及び創作者と出願人あるいは権利者が異なる場合は相手方の承諾を得て下さい。
※応募作品は1人2点を限度とします。
※過去に同展示会に出展した作品は対象外です。
※同展示会に出展後、改良を加えた作品は初回を含め2回までの出展を限度とします。
※展示会へ出展後は公知となりますので、応募前に出願を済ませてください。

■応募方法

所定の応募用紙に必要事項を記入の上、当協会へ提出。
※応募用紙は、当協会ホームページからダウンロードいただくか、お電話にてご請求下さい。
※ご提出いただいた応募書類は返却いたしません。

■準備するもの

①公開又は登録されているものは、その公報を1部、出願中のものは出願書類のコピーを1部添付。
②応募作品(原則、実物又は模型で重さ50kgまでの物。不可能な場合はパネル展示でも可)③商品説明・お問合せ先が記載されたもの(パンフレット、チラシ、名刺等)

■出展料

発明協会会員10,000円(2点目20,000円)／非会員20,000円(2点目20,000円)
コンセント使用300円(電気の三相工事は別途料金が発生します。)

作品受付期間

平成27年
7月21日(火)
9月11日(金)

産業まつりでの展示について

■展示スペース

展示スペースは1作品につき、会議用テーブル1台(180cm×60cm)の範囲内です。
但し、大型作品は屋外展示になりますのでご相談下さい。

■審査会・賞の種類

審査会期日:平成27年10月22日(木)

賞の種類:特・実 知事賞(最優秀賞1点、優秀賞2点)・会長賞3点
意匠知事賞(最優秀賞1点、優秀賞1点)・会長賞1点

■展示期間 平成27年10月23日(金)～25日(日)10:00～19:00

沖縄県立武道館・アリーナ棟(沖縄の産業まつり会場内) ※展示会期間中は大勢の来場者があります。
作品管理はPRを兼ねてご自身でご対応お願い致します。

■表彰式 平成27年10月25日(日)(予定)

申込み・お問い合わせ先

一般社団法人 沖縄県発明協会

〒904-2234沖縄県うるま市字州崎12-2沖縄県工業技術センター内

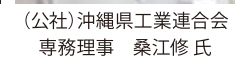
●mail: j-miyakawa@okinawa-jiii.jp ●URL: http://www.okinawa-jiii.jp TEL.098-921-2666・FAX.098-921-2672



参加者を代表し、挨拶を述べる
(公社)沖縄県工業連合会会長 吳屋守章氏



(公社)沖縄県工業連合会
副会長 古波津昇氏



(公社)沖縄県工業連合会
専務理事 桑江修氏



各企業から製品についてのプレゼンテーション

県産品奨励月間の7月には毎年県産品をPRする様々な事業・イベントが実施されていますが、その締め括りとして、7月31日(金)県産建設資材に対する認識を深め、連携を強めることを目的とした沖縄県と県内企業による意見交換会の場が持たれました。

建設関連企業を中心に18社で結成された団員が沖縄県庁を訪れ、各企業の製品に関するプレゼンテーションを行うとともに、県産品優先使用について県の理解を求めました。

参加者を代表して、沖縄県工業連合会の吳屋会長が挨拶し、県産品奨励月間期間中の県の協力について感謝を述べるとともに、「県産品を使用することによる経済効果は重要であり、豊かな沖縄県を作るため、県と企業とが連携を強めていくことが必要」と、公共工事等における県産建設資材利用への積極的な取り組みについて嘆願しました。

沖縄県側からは、土木建築部、農林水産部、企業局、教育長、商工労働部から約30名が参加し、各企業のプレゼンテーションや要望に耳を傾けました。

意見交換の場では双方から様々な意見・要望などについて活発な議論が交わされました。沖縄県工業連合会古波津副会長は、拓南製鉄株式会社代表取締役社長として鉄筋コンクリート用棒鋼等を製造・販売する立場から「県外の業者と比較して県内企業の製品や能力が劣ることはない。安定供給ができないというイメージはむしろ逆であり、県内にあるからこ



沖縄県商工労働部
産業雇用統括監 宮城行夫氏



そ迅速な対応が可能になる」と県産建設資材使用のメリットを説明、県の理解を求めました。

これらの嘆願に対し、沖縄県商工労働部宮城産業雇用統括監は、「昨年に続き、忌憚なき意見交換ができる場を持つことができて感謝している。今後も県産品を積極的に使用していく所存であり、また今回の要望等についても調査を進めたい」と話し、県と企業双方が沖縄県の産業活性化、雇用拡大に向け今後も連携を強めていくことを確認し合うことができました。



物流情報科のご案内



流通業界をはじめとするあらゆる産業分野において、「物流の専門スタッフ」として、指示待ち型ではなく、失敗を恐れず新しい試みを積極的に提案し実行に移せるような人材が求められています。物流情報科は、輸送・配送・荷役・保管等の物流管理、貿易実務、販売管理、情報管理等を学び、グローバル化に対応した人材の育成を目指し、実践的な教育カリキュラムで、きめ細かな技術指導をしています。

充実した施設での授業風景



物流機械運転実習



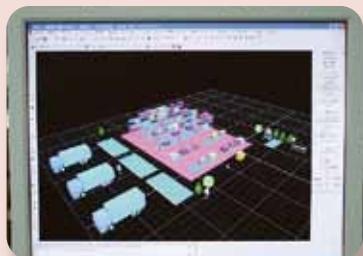
ガントリークレーンシミュレータ



情報処理実習



簿記演習



物流センター設計シミュレーション



販売管理実習

卒業生の声

徳君株式会社
大城 真美子

私が働いている徳君株式会社は、あなたの「あったら良いな～」をモットーに、自動車、バイク、DIYまでの工具を直輸入して、ECサイトでの直接販売でお安く提供しています。担当している仕事内容は、海外メーカー問合せ（納期の確認や発注等）、専用のソフトを使った売上登録、販売のため市場調査などです。物流情報科で学んだ知識で活かしている事柄としては、貿易実務検定の知識やエクセル&ワードは日常的に使用しています。販売士検定の知識も今後活かしたいなと思っています。資格有無に関わらず物流情報科で学んだことは所々で私の職場では活かされています。

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 沖縄職業能力開発大学校（学務課まで）

〒904-2141 沖縄県沖縄市池原2994-2 TEL. 098-934-6282 FAX. 098-934-6287
http://www3.jeed.or.jp/okinawa/college/

琉球大学工学部後援会からのお知らせ

SDN/クラウド技術による 近未来のインターネット

長田智和（琉球大学工学部情報工学科 准教授 (nagayan@ie.u-ryukyu.ac.jp)）



【1. はじめに】

1960年代に米国で当初は軍事利用目的で開発が始まったインターネットは、瞬く間に世界中に広がり、今や現代社会に生きる我々の生活において欠くことができないインフラであり、ツールとなっています。

インターネットは、現在のインターネットと呼べるものが普及し始めてから30年足らずであり、テクノロジーとしてはとても若い部類になります。しかし、インターネットは、さらに進化するべく、新しい基盤技術が登場しました。それが、SDN(Software Define Network)技術であり、クラウド技術です。

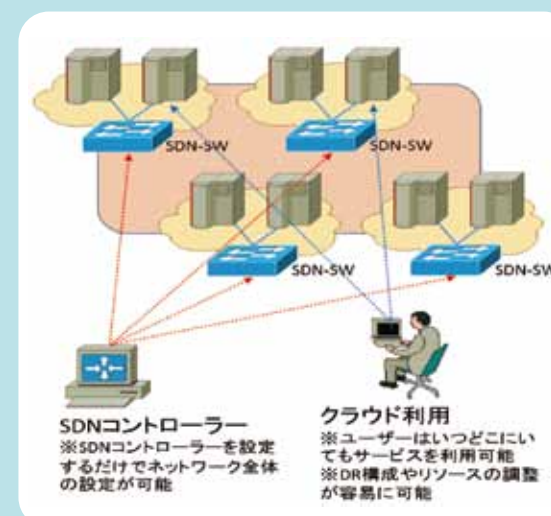
【2. SDN/クラウド技術とは】

従来、ネットワークを構築する際は、ネットワークポロジや機能によって、ルーター等の機器に直接設定する必要がありました。それに対して、ネットワークポロジから機能まで、あらゆることをソフトウェアだけで設定できるようにする技術がSDNです。また、従来、サーバーは決められた場所に固定のリソースで設置して利用されていました。それに対して、サーバーはインターネット上の不特定の場所に存在し、可変のリソースで利用可能にする技術がクラウドです。

【3. SDN/クラウド技術によって何が変わるか】

従来のインターネットは、ピアツーピアでの厳密な通信制御（経路制御や品質保証等）は、両端だけの設定では不可能であり、経路途中の全ての機器にいちいち必要な設定する必要がありました。SDNを利用すると、必要な設定を1か所に投入することで、ピアツーピアでの厳密な通信制御が可能になります。また、クラウドを利用することでサーバーが特定の場所に固定されないため、災害や停電時にサーバーが提供するサービスを継続して運用できる等、DR(disaster recovery)環境を容易に構築できます。（図1）

その他、SDN/クラウド技術によって、従来のインターネット基盤技術では実現困難であったことが、柔軟かつ容易に実現できるようになります。



【図1:SDN/クラウドのイメージ】

【4. 長田研究室で取り組んでいること】

長田研究室では、SDN技術として注目されている“OpenFlow”プロトコルに着目し、このプロトコルを用いた様々な通信制御手法の試作や検証を行っています。また、クラウド技術としてはクラウド基盤ソフトウェア“OpenStack”に着目し、様々なハイパーバイザー（リソースプール）との親和性や信頼性評価、異なるハイパーバイザーを組み合わせた場合の安定性や性能評価等を行っています。また、これらの成果は、定期リプレイスされる次期学科基幹システムの設計に生かされており、実際に数百名の利用者がいる本番環境での運用実績は、対外発表を通して発信していきます。

5. おわりに

SDN/クラウド技術は、既に既存インターネットを土台として普及が始まっています。しかし、特にSDN技術は、インターネットに広域展開するには仕様面で不十分であり、クラウド技術も、セキュリティ等の面で改善や追加すべき点が多く残されています。長田研究室では、引き続き、SDN/クラウド技術に関連する研究を取り扱って行くとともに、同分野の専門知識を有する人材を社会に輩出していきたいと考えています。

琉球大学工学部後援会事務局（環境建設工学科内）

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町千原1番地 TEL:098-895-8640 FAX:098-895-8677



金属粉末積層造形機(3D プリンター)



沖縄県金型技術研究センターでは、研究開発・技術支援の一環として金属粉末をレーザー光で溶融、積層して立体物を造形する、金属粉末造形機を導入しました。

機械の仕様

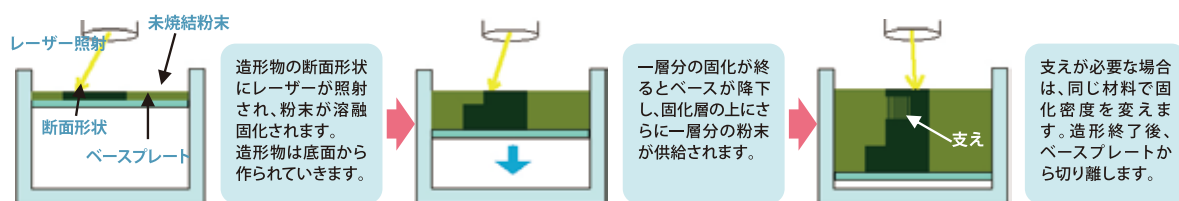
メーカー・品番	EOS社(ドイツ)EOSINT M 270
造形サイズ	250×250×高さ215(mm)
使用材料	マルエージング鋼
積層厚さ	0.02~0.04mm
レーザー出力	ファイバーレーザー200W

造形品の特性

引張強さ	1161MPa(工技センター調べ)
寸法精度	±(造形サイズ0.07%+50μm)
硬度	HRC33→時効硬化後HRC55

※HRCはロックウェル硬さ

造形の流れ



造形できる形状に多少の成約はありますが、以下のようなメリットが挙げられます。

- ① 切削工具が入らないような複雑な形も造形可能
- ② 輪郭だけを作ることもできるので、軽量化が可能
- ③ チェーンなど繋がっているような物も、個々の間に隙間があるものなら一体造形可能

造形事例



複雑な形の顔の細部も精巧にできています。



一体で造形したチェーンベルト。連結部の周囲に隙間があるので、自在に動く。



ラティス構造で、中空になっている。



射出成形金型への応用例。冷却管をらせん状に配置できるので、冷却効率が向上します。

工業技術センターは、県内製造業への技術的支援を通して産業の活性化に貢献することを使命として事業に取り組んでいます。「製品の開発に関して技術的なアドバイスがほしい」、「製品の品質を上げたい」、「研究開発の支援がほしい」などの技術課題解決や新製品・新技術開発の支援が必要な場合にはお気軽にご相談下さい。

沖縄県工業技術センター(技術支援版/企画管理班)

〒904-2234 沖縄県うるま市字州崎12番2 TEL:098-929-0111・FAX:098-929-0115
E-mail:kousi@pref.okinawa.lg.jp(メルマガを始めています。)

●ホームページ: <http://www.pref.okinawa.jp/site/shoko/kogyo/kogyo.html>

沖縄高専だより Okinawa National College of Technology

ドローン開発の日本の第一人者による講演会及びデモフライトの実施

～無人ヘリ活用による沖縄における新規ビジネスに向けた勉強会～



沖縄県は広大な海域に大小160もの島々が点在する全国でも有数の島嶼県であることから、ドローンを活かせる場も多く、また、産業活性化の起爆剤として期待されています。その一方、様々な問題点も、多く指摘されています。そこで、「ドローン開発」の日本第一人者である野波健蔵氏(千葉大学特別教授)をお招きし、直近にて開発されたICT技術を含むドローンの紹介や、その様々な事例紹介、産業育成のための問題点などについて紹介頂きます。

本講演をきっかけに、沖縄地区における産業育成を目指したドローンについて、沖縄県内の企業の皆様の意見交換の場となればと存じます。

日時 平成27年 9月10日(木)

場所 沖縄工業高等専門学校メディア棟視聴覚ホール

スケジュール

1. 13:00～ 受付
2. 13:30～ 講演会(講師 野波 健蔵氏(千葉大学特別教授))
3. 14:45～ デモフライト
4. 16:00～ ミニサーベイヤーコンソーシアム沖縄地域部会から活動紹介
5. 16:30～ 名刺交換会
6. 18:30～ 懇親会(名護市近辺を予定)

参加申込方法

参加者の法人名・お名前・ご連絡先(電話及び電子メール)・参加人数 を、8月31日まで以下の問い合わせ先のメールアドレスへご連絡をお願いします。

問合せ先

沖縄工業高等専門学校 情報通信システム工学科 藤井 知
E-mail: s_fujii@okinawa-ct.ac.jp TEL:0980-55-4142

講師:野波 健蔵氏(千葉大学特別教授)

プロフィール

1979年東京都立大学大学院工学研究科機械工学専攻博士課程修了、1985年米航空宇宙局(NASA)研究員・シニア研究員、1994年千葉大学教授、2008年千葉大学理事・副学長(研究担当)、2012年ミニサーベイヤーコンソーシアム会長、2013年国際知的無人システム学会会長、2013年大学発ベンチャー「(株)自律制御システム研究所」代表取締役社長として起業し、オートパイロットが国産のドローン・ミニサーベイヤーを販売。2014年千葉大学特別教授。2015年2月からミニサーベイヤーの量産を開始し、オートパイロットフライトコントローラ(APFC)も2015年末から量産化予定。



主催:ミニサーベイヤーコンソーシアム/沖縄工業高等専門学校
協力:(株)自律制御システム研究所

沖縄工業高等専門学校 産学連携協力会事務局(担当:喜屋武)

〒905-2192 名護市字辺野古905番地 TEL:0980-55-0133・FAX:0980-55-4012
E-mail:skrenkei@okinawa-ct.ac.jp ホームページ: <http://www.okinawa-ct.ac.jp/>



知的財産でお悩みの中小企業・個人事業主・創業予定の個人の皆様
知的財産に関することなら何でもご相談ください!!

相談無料
秘密厳守

ワンストップ
サービス

知財総合支援窓口

出願準備の支援

窓口支援担当者が出願の目的を把握し、アドバイスを行います。



インターネットによる出願を支援

知財総合支援窓口を設置した電子出願共同利用端末機によりインターネット出願を支援します。



海外展開を支援

海外展開における戦略の策定や契約の際に必要な知財に関するアドバイスを行います。



知財活用の支援

経営課題を明確にし、その解決のための知財活動を専門家チームが支援します。

外部技術とのマッチング

求めている技術内容を把握し、大学や研究機関とのマッチングを支援します。



商標に関する支援

ネーミング・マークの権利化などに関して支援します。また、地域団体商標に関して支援します。

社内体制を整備

営業秘密管理体制や社内規程の整備など企業内における法的問題について説明、助言を行います。



幅広い相談に対応

知財以外の支援が必要な場合(補助金、技術支援、試作支援)は、他の支援機関と連携し支援します。

知財専門家活用

窓口常駐支援

窓口支援担当者だけでは解決できない場合は、定期的に常駐する専門家と協働で支援します。但し、専門家の支援に当たっては、窓口支援担当者が事前にお話を伺い常駐日へご案内します。
窓口常駐日 弁理士:週3回/
弁理士:月1回

企業訪問支援

中小企業等へ直接訪問する必要があると判断した場合は、企業へお伺いし支援します。また、継続的な支援が必要な案件は最大5回まで訪問支援します。

知財コンダクター支援 (弁理士マッチング支援)

特許出願の意思のある中小企業等に対して、依頼する弁理士を選定するためのマッチング支援を行います。
中小企業等の特許出願などにおいて、知財専門家(活用弁理士)の協力のもと、権利取得に向けた発明概要書の作成を行い、その発明の出願代理を希望する弁理士と出願人とのマッチングを行います。

その他 ニーズ発掘のための企業訪問

知財に関するセミナー等の実施

相談先・お問い合わせ先

知財総合支援窓口 個別対応のため予約が必要です。

TEL ☎ 098-995-8778

FAX ☎ 098-921-2672

URL ☎ <http://www.chizai-oki.jp/>

URL ☎ info@okinawa-jiii.jp

◎うるま窓口:毎週 月～金曜日 場所/沖縄県発明協会
◎那覇窓口:毎週 火・水曜日 場所/沖縄産業支援センター
◎外部窓口(名護):毎月第4火曜日 場所/名護市商工会
◎外部窓口(八重山):偶数月・第4金曜日 場所/沖縄県八重山事務所
◎外部窓口(宮古):奇数月・第4金曜日 場所/沖縄県宮古事務所
※詳しい日時に関してはお問い合わせください。

全国共通
お問い合わせ先 0570-082100 (有料)

OKINAWA INDUSTRIAL FEDERATION NEWS TOPICS

沖工連青年部会 会員募集中!

青年部会は親睦会や勉強会等の活動を通して、工業界の青年層が気軽に情報交換できる会を目指しています。

- 加入資格 / 公益社団法人沖縄県工業連合会会員の役員及び従業員で45歳迄
- 会 費 / 入会金10,000円、年会費20,000円
- 会 員 数 / 22名(2015年7月現在)



お問合せ先:公益社団法人沖縄県工業連合会 TEL.098-859-6191 (担当:小浜)

公益社団法人沖縄県工業連合会 会員募集のご案内

公益社団法人沖縄県工業連合会は、昭和28年5月に「沖縄県における工業の育成及び振興を図り、もって県経済の発展に寄与する」ことを目的に創立されました。現在では、製造業を中心に約400社の会員を有し、毎年7月の「県産品奨励月間」や「沖縄の産業まつり」などをとおして、県内製造業並びに関連産業の振興発展に寄与するため鋭意努力しております。本会の主旨に賛同していただける方なら規模の大小は問いませんので、ご入会をお待ちしております。お気軽に事務局までお問合せください。

会員への主なサービスならびに特典

- 機関誌「工連ニュース」や電子メール等による各種情報サービスの提供
- 経営者や従業員を対象とした講習会、技術・経営セミナーなどの案内
- 公設試験研究機関との連携による技術力向上に関する事業などへの参加
- 県産品奨励月間事業(7月)における国・県・市町村、食品・建材大口需要者などに対する要請活動への参加
- 「県産品マーク」の取得
- 本会のインターネットホームページによる会員企業の紹介
- 「沖縄の産業まつり」の出展料の優遇
- 従業員表彰制度の活用(優良従業員・創意工夫功労者・優秀技能者)
- (一社)沖縄県発明協会との連携による産業財産権に関する情報提供など



会員の皆様へ「工連ニュース」で自社の商品をアピールしてみませんか?

会員の皆様方には平素より本会機関誌「工連ニュース」の事業活動についてご理解・ご協力を賜り衷心より感謝申し上げます。

「工連ニュース」では会員サービスの一環として会員の新品などを紹介するコーナーを設けています。事業のPR、新商品の紹介などに積極的にご利用下さい。

●お問合せ先
公益社団法人沖縄県工業連合会 TEL.098-859-6191 担当:座間味

掲載
無料

フレッシュ&バラエティ

オキコパン



好評発売中



「ゆめちから」の
小麦粉を75%使用
(小麦粉中)

イーストフード・乳化剤不使用

バターと塩の風味豊かな
食卓パンです。

ゆめちから入り
塩バターパン

